

令和4年8月吉日

## 第26回日本バイオ治療法学会学術集会

### — 開催要項及び演題募集要項 —

謹啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。この度、第26回日本バイオ治療法学会学術集会を2022年12月10日に大阪国際会議場にて開催させていただくことになりました。私は、平成17年に堀均教授（現、徳島大学名誉教授）の元で第9回バイオ治療法研究会学術集会のお手伝いをさせて頂きましたが、今回は学会名が変更されて初めての当番世話人を務めさせて頂き大変光栄に存じます。

本学会は、生物そのものの機能あるいは生物や生体の構成成分の機能を利用、応用、模倣する技術であるバイオテクノロジーを使い、生体の防御機構の賦活を介した治療法の確立をめざす研究者の集まりであります。

生体のホメオスタシスの維持に関与するサイトカインを含む様々な生体物質が同定されるとともに、サイトカインそのものやサイトカインに対する抗体がバイオテクノロジーによって大量に生産できる時代となり、インターフェロンなどの抗ウイルス剤、エリスロポエチンやコロニー刺激因子などの造血剤、HER2やEGFRやCD20に対するモノクローナル抗体である抗腫瘍薬、あるいはTNF- $\alpha$ やIL-6などに対するモノクローナル抗体であるリウマチ治療薬などの応用が臨床的に確立する一方で、細菌や菌類由来のBRM製剤(生物学的応答調節物質)や健康食品の活用にも期待が高まっています。しかし、生体は極めて複雑なバランスの上に成り立っており、特定の生体物質を過剰に投与することは、そのバランスに影響を及ぼすおそれがあります。したがって、リコンビナントの生体物質や免疫賦活剤の投与など、今後益々盛んになることが予想されるバイオ治療においては、これまでに得られた免疫学をはじめとする生物学の知見を再統合し、生体内における制御系を全体としてとらえていくことが必要であり、そのためには本学会のように基礎研究者と臨床医との間での密接な情報交換が不可欠であります。

未だ新型コロナ感染拡大の最中ではありますが、皆様が最先端の研究成果を発表し、自由に討論できるよう昨年度に引き続いて対面開催とさせて頂きました。今回は免疫と健康長寿に関する特別講演や企業主催のランチョンセミナーを企画するほか、広くバイオ治療法に関連する演題を募集いたします。

つきましては、今回の開催要項と演題募集要項をご案内申し上げますので、皆様方には奮ってご発表いただきますようお願い申し上げます。また、日本バイオ治療法学会のホームページ〈<http://www.med.fukuoka-u.ac.jp/biochem1/sbaJ/>〉もご覧ください。

謹白

第26回日本バイオ治療法学会学術集会  
世話人 宇都義浩  
(徳島大学生物資源産業学部・教授)

## 【開催要項】

### 1. 会期

令和4年12月10日（土）

### 2. 会場

大阪府立国際会議場（大阪市北区中之島5丁目3-51）

※交通アクセス→<https://www.gco.co.jp/access/>

### 3. プログラム（予定）

特別講演 鶴殿 平一郎 教授

（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻 腫瘍制御学講座）

演題名「活性酸素が拓く生体防御機能と健康長寿」（仮）

一般演題（口頭発表のみ）

企業主催のランチオンセミナー

### 4. 参加申し込み

件名を「日本バイオ治療法学会参加登録」としたE-mailに参加者氏名を明記の上、下記のアドレスまでご連絡をお願いします。学術集會に参加される方は（発表しない場合でも）必ず参加申し込みをお願い致します。

E-mail: [jab26@lsin.org](mailto:jab26@lsin.org)

（お問い合わせ）

〒770-8506 徳島市南常三島町2-1

徳島大学生物資源産業学部 C2 講座（事務担当:小林 彩）

第26回日本バイオ治療法学会学術集會事務局 宛

TEL: 088-656-7517 FAX: 088-656-7514

### 5. 参加費：5,000円

発表および参加される方は下記の銀行口座に必ずお振り込み下さい。年会費（後述）とは別です。

振込先：阿波銀行 助任橋支店 普通 1226150

名 義 第26回日本バイオ治療法学会学術集會 当番世話人 宇都義浩

### 6. 年会費納入のご案内

後日郵送する振り込み用紙で年会費（一般会費10,000円、学生会費2,000円）をお支払い

下さい。今回は会場で集めることができませんので、お振込のほどよろしくお願ひ致します。

7. 発表者は、日本バイオ治療法学会の会員である必要があります。入会を希望される方は、E-mail もしくは Fax で、日本バイオ治療法学会の本部事務局までご連絡下さい。事務局より直ちに年会費(一般 会費 10,000 円、学生会費 2,000 円)の振り込み用紙をお届けします。  
年会費の振り込みをもって入会とします。

連絡先: 日本バイオ治療法学会本部事務局 (事務担当:中本優子)  
NPO 法人 環瀬戸内自然免疫ネットワーク  
〒761-0301 香川県高松市林町 2217-16 FROM 香川 3F バイオ研究室  
TEL : 087-813-9201 FAX : 087-813-9203  
E-mail : biotherapy2@lsin.org

8. Proceedings 発行  
本研究会で発表いただいた演題は、原著ないし総説の形式で翌年の Anticancer Research に Proceedings として掲載されます。奮ってご応募ください。詳しくは学術集会のあと本部事務局からお知らせして原稿を依頼します。  
尚、これまでの 25 回に及ぶ学術集会の Proceedings は、日本バイオ治療法学会のホームページからご覧いただけます。  
<<http://www.med.fukuoka-u.ac.jp/biochem1/sbaJ/proceedings.html>>

#### 【演題募集要項】

1. プログラム：バイオ治療法などに関する演題を広く募集いたします。
2. 発表形式：口頭発表のみ
3. 演題登録：E-mail による登録のみです。下記の要領で「演題申込み」のファイルを作成し、件名を「日本バイオ治療法学会演題登録」とした E-mail に、ファイルを添付して送ってください。
4. 締め切り：2022 年 9 月 30 日（金）
5. 演題賞：今年度より、演題賞を設立いたしました。  
<優秀賞> 1 名（賞金 10 万円）  
<奨励賞> 2 名（賞金 5 万円/名）※40 歳未満の発表者が対象

6. 抄録送付先アドレスおよび問い合わせ先：

E-mail：[jab26@lsin.org](mailto:jab26@lsin.org)

(お問い合わせ)

〒770-8506 徳島市南常三島町 2-1

徳島大学生物資源産業学部 C2 講座 (事務担当:小林 彩)

第 26 回日本バイオ治療法学会学術集会事務局 宛

TEL : 088-656-7517 FAX : 088-656-7514

7. 演題申込み方法：演題申込みは、次の 2 ページからなる書類を作成し、前記の抄録送付先宛に E-mail の添付書類で送って下さい。

1) 連絡先 (1 ページ目)

演題名、氏名 (発表者および責任者)、所属、住所、電話番号 (内線番号)、FAX 番号、E-mail アドレスを明朝体の 11 ポイントで簡条書きにして下さい。

2) 抄録原稿 (2 ページ目)

用紙の大きさは A4 版で、下記の必要記載事項を、明朝体の 11 ポイントで仕上げて下さい。用紙の余白は、縦横左右とも 30mm でお願いします。字数制限は設けませんが、図表を含めて A4 用紙 1 枚以内に収めて下さい。抄録集は A4 版で作成する予定です。Windows もしくは Macintosh の Microsoft WORD で作成して下さい。

尚、事務局から受領の返信をいたしますが、1 週間以上経っても受領の連絡がない場合はご連絡下さい。

〈連絡先:1ページ目〉

〈抄録原稿:2ページ目〉\*

<p>演題名 氏名 (発表者および責任者) 所属 住所 電話 Fax E-mail アドレス</p>	<p>演題名 氏名 (発表者を筆頭に) 所属 (発表者ごと明示)  【目的】  【方法または材料】  【結果および考察】  【結論】</p>
--	--

\* 抄録原稿の【目的】以下の項目は、研究内容に合わせて多少アレンジしていただく結構です。

8. 利益相反情報の開示について：発表の際にはタイトルスライドの1ページ目に利益相反情報を開示して下さい。詳細については、別紙「利益相反に関する指針」を参照ください。